

在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議資料

印西市の現状と市民の在宅医療・介護 の意識について

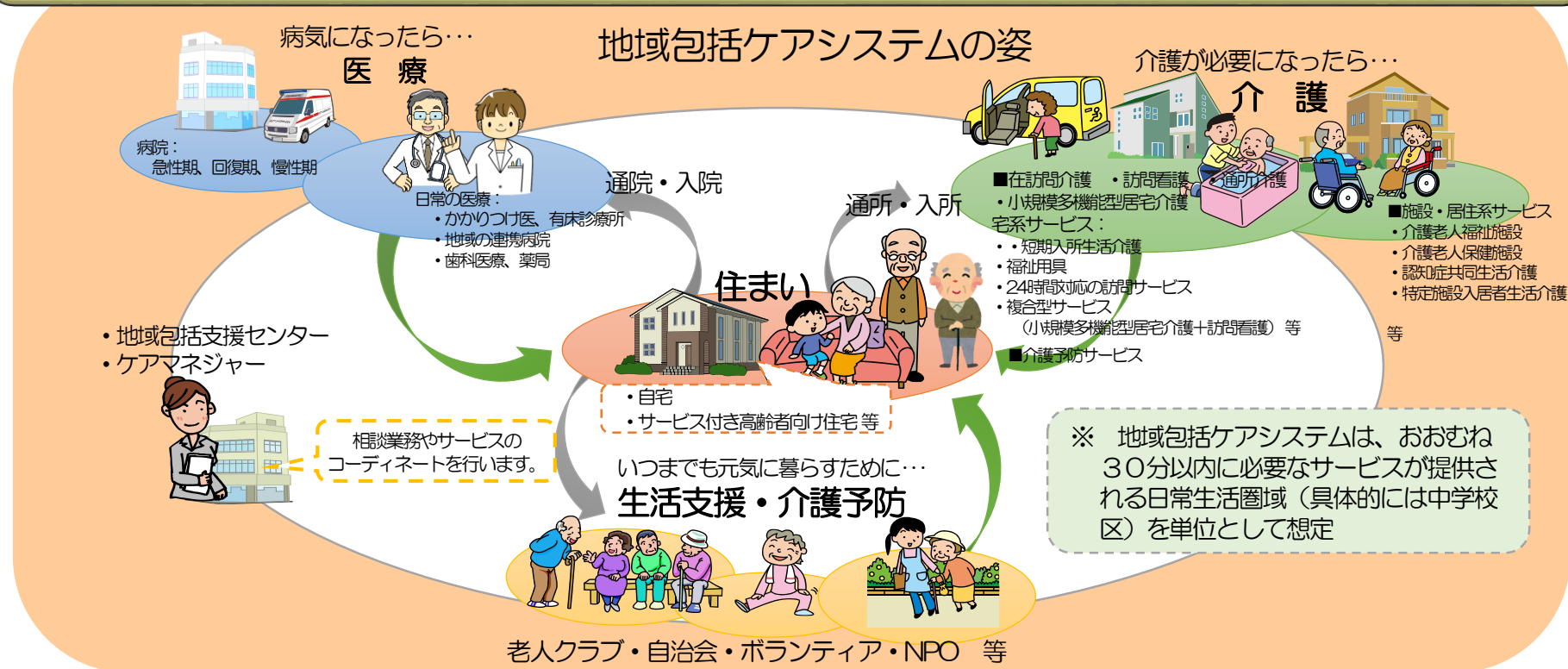
日時 令和6年6月28日（金）14時から

場所 印西市役所 別棟 農業委員会会議室

印西市高齢者福祉課

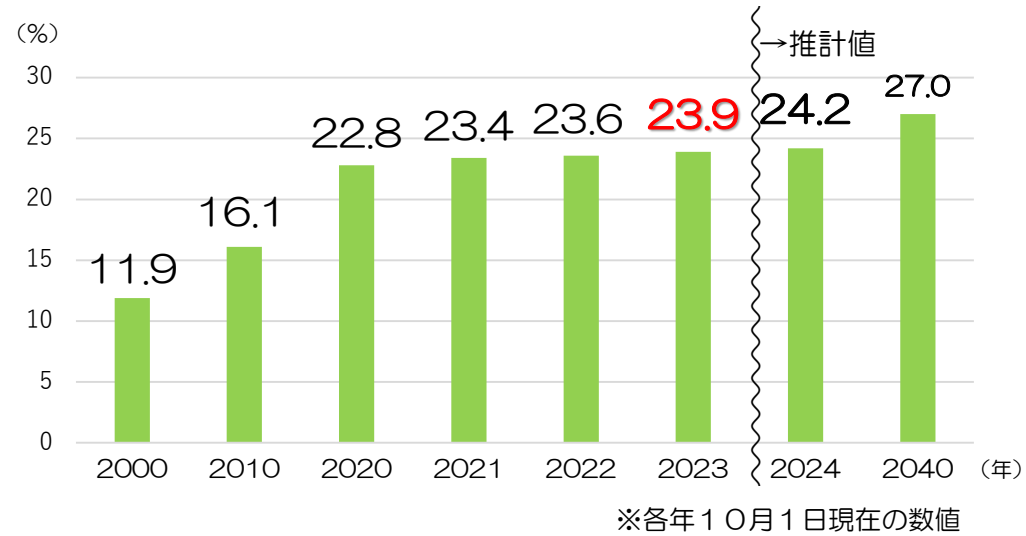
地域包括ケアシステムの構築の必要性

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても**住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる**よう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。



印西市の高齢化率・生活圏域別65歳以上人口の推移と傾向

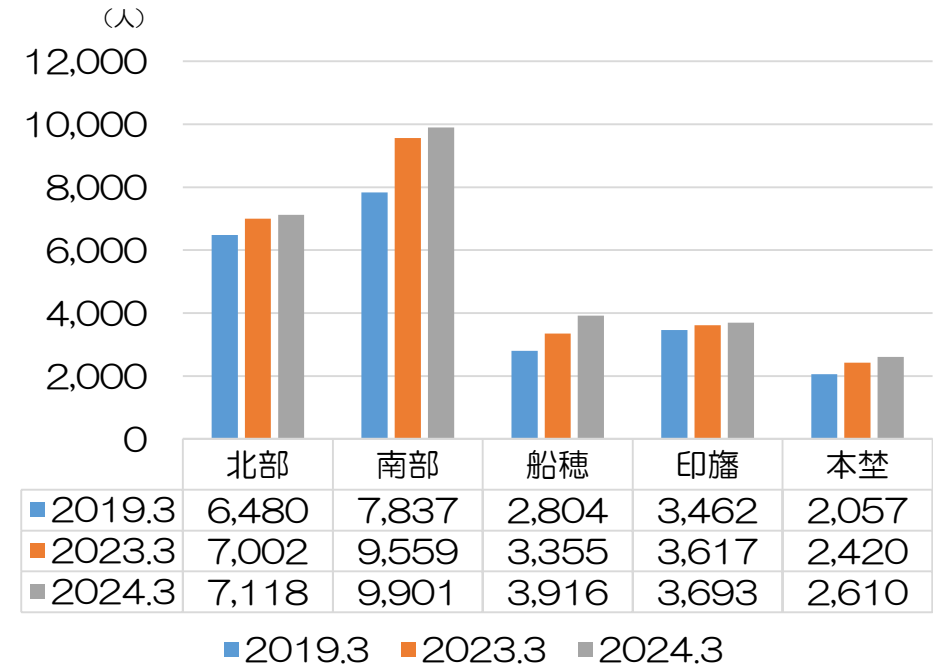
印西市の高齢化率の推移（推計値含む）



参考：第8期・第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画

- 令和6年3月末現在の印西市の高齢化率24.3%
すでに2024年10月1日現在の推計値以上
- 2024年4月1日現在で、印西市は県内で5番目に若い
市ではあるが、高齢化率は緩やかに伸びている

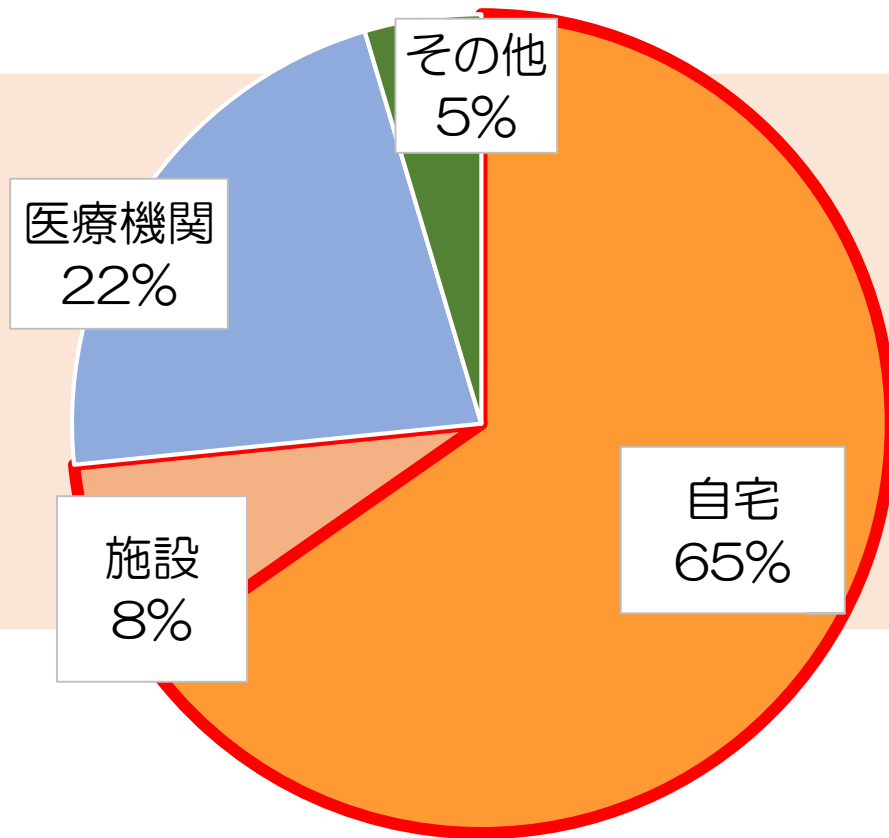
印西市の生活圏域別65歳以上人口の推移



- 市内すべての圏域で高齢者人口は増加している
- 南部圏域（千葉ニュータウン中央駅圏）が顕著に多い。
- 過去5年の伸び率では、船穂（約40%）、本埜（約27%）、南部（約26%）、北部（約10%）、印旛（約7%）の順に増加している

印西市民の在宅医療・介護についての意識

長期療養や介護が必要になったときに過ごしたい場所

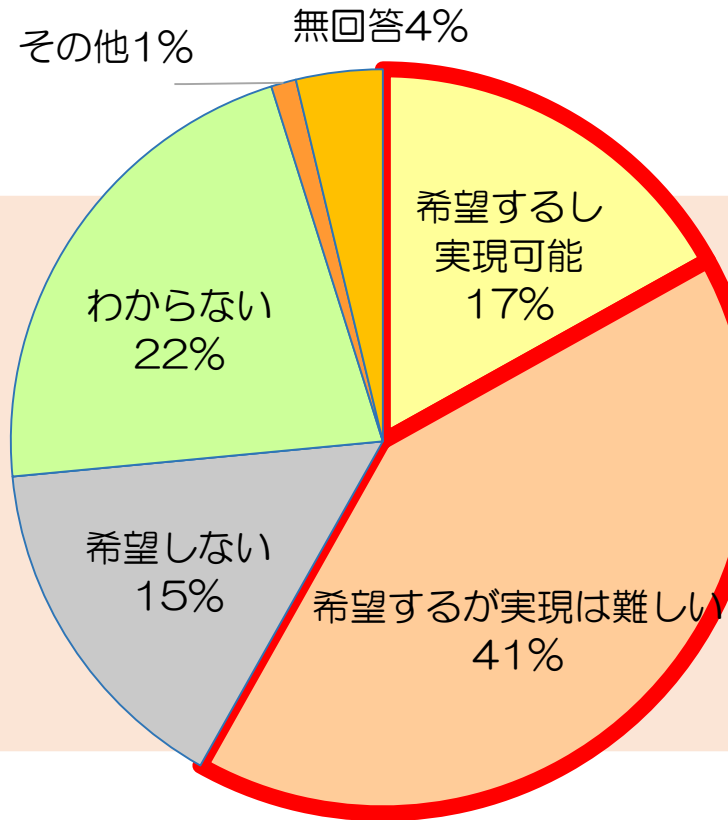


長期療養や介護が必要になっても、選択肢として、医療機関ではなく、自宅（施設）で過ごしたいと考える人が約3倍多い。

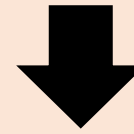
R 6

参考：「第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（介護予防・ニーズ調査）」（令和6年3月）

長期療養が必要になったときの在宅医療の希望

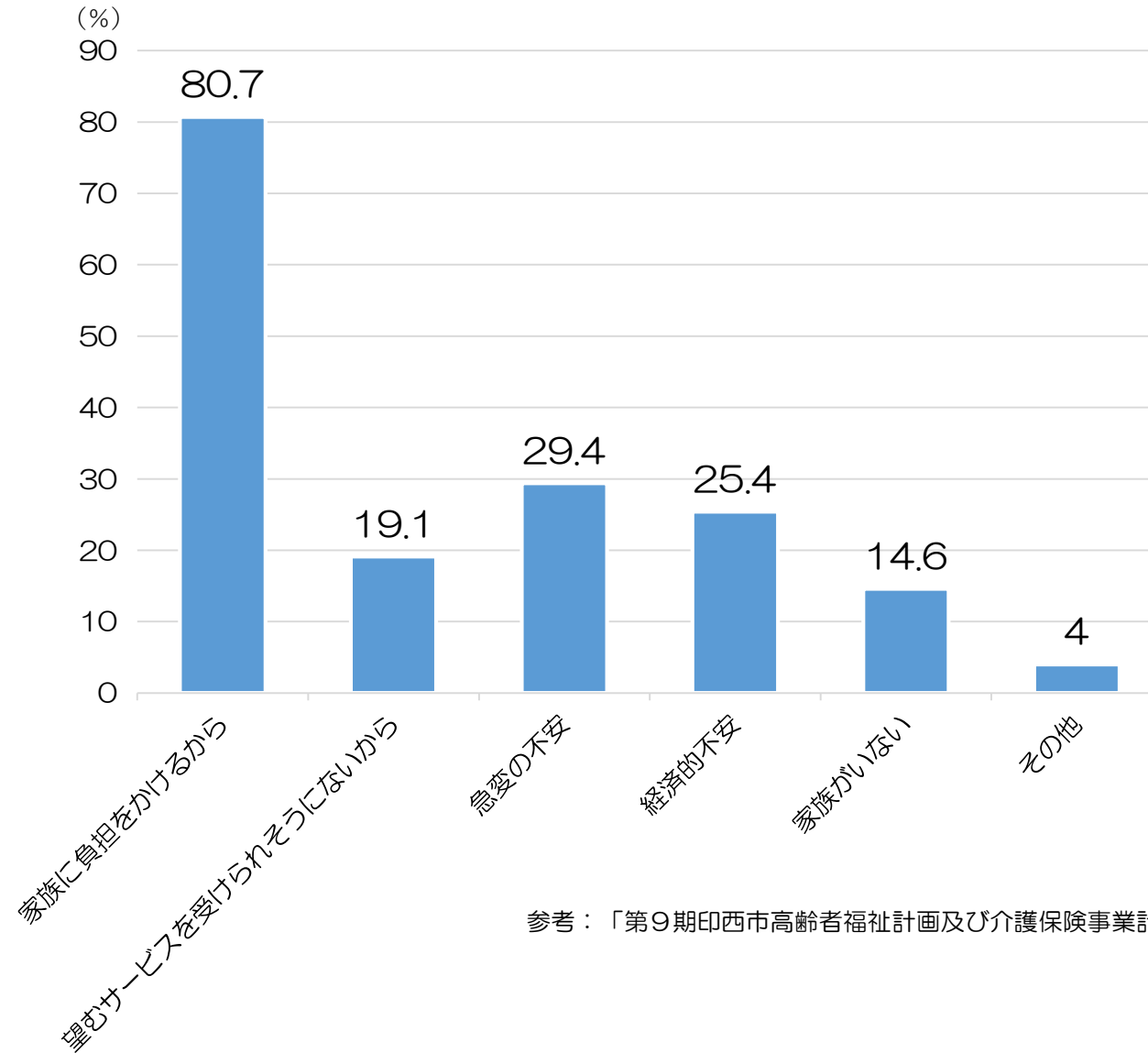


病気などで日常生活上介護が必要になった場合、自宅で医療や介護を受けたいと希望する人は
約6割



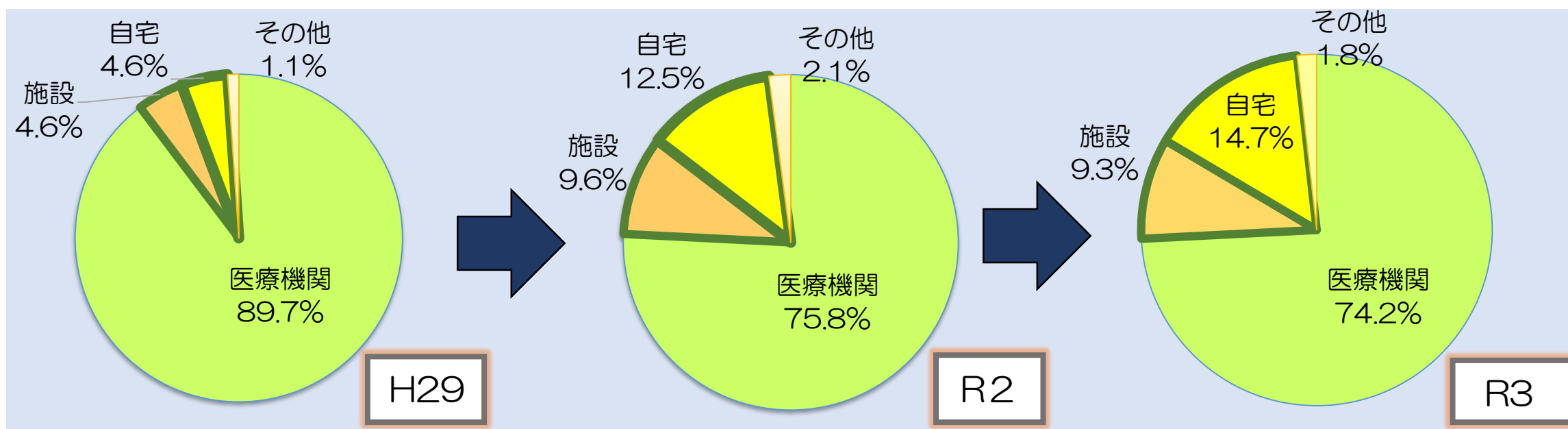
希望はしている人の中で、実現は難しいと感じている人は
約7割

在宅医療は実現困難または在宅医療を希望しない理由（複数回答）



参考：「第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（介護予防・ニーズ調査）」（令和6年3月）

印西市の死亡場所統計の推移



参考：千葉県衛生統計年報（人口動態調査）

千葉県が統計を取っている人口動態データのうち、印西市の65歳以上の人がどこで最期を迎えたかについてまとめたもの

平成29年は医療機関で亡くなる方が全体の約90%を占めていた。
平成29年から令和3年までの5年で、在宅死は約10%から約25%と、約2.5倍に増えていることがわかる。